



会 長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦  
副 会 長 妻神 和憲 幹 事 小田山紀暢  
クラブ奉仕 石橋 信雄 会 計 岡崎 孝文  
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄  
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広  
社会奉仕 深澤 隆 副 幹 事 中村 稔彦  
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一  
同 委 員 松林 拓司 同 委 員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！  
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

8 月 は 会 員 増 強 ・ 新 ク ラ ブ 推 進 月 間 で す  
第 3 3 2 3 回 例 会 2 0 2 4 . 8 . 7

会 長 要 件 橋本八右衛門 会長



本当に暑い日が続いています。先週はお陰様で八戸三社大祭が無事に終了しました。わたしは籠神社総代ということで歩かせていただきました。

さてこの三社大祭ですが、歴史的に300年超えということになっておりますが、2016年にユネスコの無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されて話題になりました。無形文化遺産は世界遺産よりじゃっかん地味ですけども、登録されるとその価値が上がり、観光客が押し寄せてくる。本当に興味をもって来ていただけるということで地域の活性化につながるといってわれわれは盛り上がっています。

このユネスコの創設にはロータリーが深く関わっているということです。本日、ボックスに会長要件の資料を入れさせていただきました。ユネスコとは何ぞやということで本日は話させていただきます。

ユネスコはUnited Nations Educational, Scientific and Cultural Organization U.

N.E.S.C.O.)の略で、国際連合教育科学文化機関です。成り立ちは第二次世界大戦中、ナチスドイツに追われた自由ヨーロッパ諸国がロンドンに亡命政府を置き、その時に各国の文部大臣を集めた会合が1942年頃から頻繁に行われるようになりました。この時は2回目の世界大戦で戦後の教育文化をどのように図るかなどで話し合いが行われていたそうです。そして1943年のロータリーのロンドン会議、このような時代にもロータリーの会議、話し合いが行われていて、このような方々が多く参加されてその後、継続的に会議を行い、その内容で話し合われました。そして1945年11月にユネスコ創設会議が行われ、憲章が採択され、これがユネスコの始まりだといわれています。国連創設や世界人権宣言などはその後、いろいろロータリーは大きく関わっていますが、今回はユネスコについてのみの説明とします。

ユネスコの憲章は戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない。当時のイギリスのアトリー首相の開会演説から取った一文から始まっていますが、詳細の説明は今回は省き

ます。見てみるとひじょうに長い、いろんな文章が書かれていますので、なかなかボリュームのある宣言です。

内容を分かりやすく簡単にいいますと、二度の世界大戦によって多くの犠牲者が出た、悲しい思いをしてきた。二度と起こさないためにどうしたらいいか、どうすればいいか。大切なことは人々の違いに目を向けること、多様性、それぞれ違い、様々な考え方があること。それを理解することが人類を豊かにする。寛容さを身に付けるためにはお互いの文化を尊重する必要がある。文化を学び、経験する教育が必要。科学の発展により人類の争いの根本となる飢えから逃れることができるかもしれない。多くの人を苦しめる病を克服できるかもしれない。科学の発展によりよりよい生活を送れるかもしれない。そんな世界がお互いを理解し合えるための組織が必要ではないかという思いからお互いの理解を文化や教育、科学の分野から促進する組織を作り、人類の夢を実現するための会議を続け、恒久的な平和を目指しましょう。

このようなことがユネスコの理念ということで説明されています。

現在は日本を含む194の国と地域が加盟しています。ユネスコは文部科学省の中には日本ユネスコ国内委員会という組織が置かれていて、日本国内におけるユネスコの活動を盛り上げる役割を担っています。他にも協会、連盟、自主的なものなどいろんな団体があるそうです。とにかくそのようなことで頑張られているそうです。

八戸三社大祭はその地域の文化歴史を背景に地域の人々、大人も子供も一緒になって創り上げられるお祭りということで無形文化遺産に登録されました。数日前の日経の記事にも載っていましたが、おまつり関係も人不足でお手伝いをいただかないと氏子だけでは回らないという状況です。われわれ稲神社の行列も、お還りのときなどは総代が少なくてひじょうに格好が悪かったイメージがありました。

日経の記事によると京都の祇園祭などもボランティアによって支えられているという記

載がありました。もちろん三社大祭ではわれわれ稲神社もさまざまな企業も皆さんに支えられて行われておりまして、今年は森さん、竹石さんたち東北電力グループ、大成建設、フリーブレイズ、エプソンアトミクス、八戸通運、損保ジャパンなどの方々にボランティアとして参加していただき、何とかお祭りをやることができました。なので、このような外の方たちも含めた形でのこれからの文化の形成ということで、地域のお祭りにはひじょうに重要な形とこれから文化作りの一員として、そのような形になっていくのか、そういうことも少し思い描いたりしています。

ぜひ、他の方々も来年の三社大祭には参加していただければひじょうにありがたいと思います。

## 幹事報告 小田山紀暢 幹事



- ロータリーレートについて  
8月は154円です。7月は161円でした。
- 8月21日(水)例会について  
8月14日の例会はお盆でお休みです。

8月21日の例会はグランドサンピアでうなぎ例会です。今年度は追加料金はありません。  
○事務局お休みのお知らせ

8月10日(土)～8月18日(日)事務局はお休みをいただきます。

## 中村稔彦副幹事

### 八戸市を緑にする会募金について



募金協力ありがとうございました。39,000円集まり、皆様には本当に感謝いたします。少しでも八戸市に緑が多くなりますよう頑張っていきたいと思っております。

## 水曜会報告

8月2日に新会員歓迎コンペと題して行われました。天気もよく30℃の快晴でした。お祭り期間にも関わらず、15名の方に参加いた

だきありがとうございました。結果は優勝は佐々木泰宏会長。準優勝は妻神和憲さん、ベスグロは松林さん。松本剛典さん指定の位置のベスグロを松林さんがとりました。ぜひまた参加をお願いします。新会員の小野さんと森さんが参加されました。ぜひ今後ともご参加をお願いします。夜は市役所近くのハレヒコで行いました。こちらには浜谷さんも参加され、おいしいジンギスカンをいただいて懇親を深めました。次回も案内がありましたらぜひ参加いただければと思います。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

田守拓己委員



ニコニコボックスの報告

橋本八右衛門さん

お祭りあけ、長いお盆前です。気を引き締めて体調管理ががんばりましょう。

上村奉樹さん 村井さん本日の卓話よろしく  
お願いします。

岡崎孝文さん 21日の例会（ウナギ例会）お  
待ちしております。

佐々木泰宏さん 水曜会、2回目の優勝しま  
した！

渡辺 孝・赤澤栄治 } ニコニコデー  
道尻誠助さん

橋本八右衛門会長



今年度の卓話はロータリー歴の長い方から今までの諸先輩方が過ごしてきたロータリークラブの状況はどうだったのか。その時の考え方、感じ方、そのようなことを赤裸々に語っていただいて、われわれも入ったときにこうだった、これからこうなるんだ、何かそういう共感を得られればということをお願いをしていました。その中には昔はやっていて、今はやっていなくていいことがあったり、昔はこんな時代もあったけれど今はこうだ。そういうことをわれわれ会員一人ひとりが感じられるのでは、そういうことをお願いをしています。なので、年配の方々から声がかかってくるので、ぜひこうやったほうがいい、ああやったほうがいい、こういうことはやるなよ、こんな人もいたよということ、歴史語りを一杯含めて伝えていただければひじょうにありがたいと思っています。

きょうは村井達さんをお願いします。本日はよろしくをお願いします。



## 「わたしはロータリアン」

村井 達 さん

わたしはロータリアンというテーマですが、これは上村プログラム委員長からの命令で、進め方もこうしてくれという指令を受けて、それに従ってパワーポイントを作りました。

1976年にわたしは入会しました。この頃はこれでも体育会庭球部出身で、スポーツマンでした。頭も黒々、体も良かったのですが、今は身長も3～4センチも短くなってしまいましたし、頭の上から写真を撮るのを禁止しています。

わたしのロータリー歴は1976年6月30日に35才で入会し現在83才。お陰様で48年間無欠

席です。スポンサーは福地義男パストガバナー、職業分類は酒類製造、パートナーは村井精子（ソロプチミストの会員です。）

入会を決めた理由はわたしの父が1972-73年度当地区のガバナーでした。当時の地区は青森・岩手・宮城の3県で一つの地区で、クラブ数は90を超えていました。わたしは神戸製鋼におり、神戸やアメリカに行かされていましたが、故郷の八戸に移住して来たのが1975年。当時の八戸クラブの先輩方からガバナーの息子は当然ロータリーに入らなければならないという強制をされまして、有無を言

わせず入会させられたという次第です。

入会したときに思ったことはわたしのスポンサーだった福地義男さんが、後のガバナーですが、入会時に新入会員の紹介されたときに「ロータリー1丁目一番地は出席であります。命がけで出席しなさい。出席なくして奉仕も親睦も始まらない。」と言われました。実はたぶん東ロータリークラブの方だと思えますが100%出席をずっと長年続けています。ここの会員の方だと思えますが、病院の入院中にロータリーに出席するために抜け出して、点滴の注射をしながら、点滴のビンを担いでロータリーに出席した。こういうことまであった。すごいことなんです。文字通り、命がけで出席しろ、こういうことだと。この瞬間、わたしはロータリーの歯車が地獄の拷問の歯車に見えました。

しかし福地義男パストガバナーのロータリアンへの遺言ともいえるこのことばのお陰で、入会以来48年間無欠席を通しています。よほどの暇人かと思われるかもしれませんが、今は退任していますが、会社在任中は超多忙で、本クラブに出られなかったときはものすごい数で出られなかったのですが、メーキャップも日本国内でたぶん300回を超えていると思います。多くは八戸市内ですが。世界各地でも40回を超えていると思います。ガバナー関連の海外出張も入れますと、70回以上の海外メーキャップをしています。

ということで今まで印象深かったということでメーキャップについて取り上げたいと思います。姉妹クラブの台湾基隆は何度も訪問していますが、先ほど申し上げたようにひ



じょうにおもしろいメーキャップもいろいろしています。まずはグアテマラですが、1978年です。これは日本商工会議所100周年を記念した事業を各商工会議所でやれということになり、八戸商工会議所はグアテマラの商工会議所を公式訪問することになりました。なぜなら、駐グアテマラ大使は八戸出身の原富士男さんでした。後のわがクラブの名誉会員でした。この時に会議所のメンバーの中でロータリアンは八戸クラブの方が多いのですが、当時の会頭の佐々木隆蔵さん、種市良春さん、鴨澤喜八郎さん、山田順一さん。この大先輩の方々とグアテマラのロータリークラブをメーキャップ訪問しました。

フランスのロワールは観光地でも有名どころですが、種類業界のヨーロッパワナリー視察があったときにロータリアンが何人かいたので、一緒にメーキャップをした事件がありました。なんで事件か。いわゆるロワールロータリークラブの例会が変更になって夜間例会で、会場がわれわれが泊まるホテルでした。夜に着いて、ちょうどいいということで、ジーパンにポロシャツ姿で飛び込んだ。ところがその例会がたまたまイタリアの姉妹クラブとの公式記念パーティーだったんです。出席者はタキシード、ローブデコルテのセレブのパーティーに突然アジア人の作業員が紛れ込んでしまった。そんな感じでした。ところがフランス、イタリアのロータリアンの人たちは日本人ロータリアンまでもが参加して祝ってくれた、本当の国際記念例会になったということで大歓迎してくれました。ポロシャツの日本人中年男がローブデコルテの貴婦人たちとワルツを踊ったのです。

このように世界中のクラブで例会に出席する機会を持てるということ、そしてそれぞれ個性がありながら、寛容・友情・公平という共通項がありまして、平和・奉仕についての規模が大きい。こういうことを感じさせてくれるのが海外でのメーキャップです。ロータリーならではの為せる業だろうと思います。皆さん、どうぞ世界でメーキャップをしてください。

次に印象に残っているのは国際協議会です。

これはガバナーエレクト研修です。当時の会場はカリフォルニアのサンディエゴのホテルハイアットリージェントです。高いビルの両方ともホテルで、真ん中に会議場がありました。

この研修のときに、マイクロソフト創設者のビル・ゲイツが突然登壇しました。プログラムになかったのです。RI会長が突然お許しをいただきたい大事な一件がありますということで、彼が登壇しました。ロータリーのポリオの帽子をかぶっていました。このときにビル&メリンダゲイツ財団がポリオプラスのロータリー活動へ参加をしたい。ついては毎年ロータリー基金の2倍を寄付しますという宣言をしてくれた。それで突然登場した理由もわかりました。

実は彼自身がロータリアンではなかったのですが、今はどうかわかりませんが、彼の親父さんはロータリアン、妹か従姉さんが子供時代に小児麻痺を患ったという関係があって、ビル・ゲイツがポリオに大きな関心を寄せてくれたという経緯がありました。そのときのエピソードは省略します。

ホテルのレストランに桃川があったんです。これはムライフファミリーと称する大吟醸です。これは濁り酒、桃川シルバーのブランドは純米酒です。わたしがアメリカ作った会社のサケワンという醸造会社を作った酒が置いてありました。これはロータリー御用達ということで、会長の部屋にもこの酒を置いてきました。

思い出に大きいのは国際大会です。これはガバナー、パストガバナーという立場もあり、第100～106回まで連続で出席しました。第100回はイギリスのバーミンガムです。この会場の中でイギリス国旗、近衛兵の後進。バーミンガム郊外の町のストラットフォードアポンエイボンはウィリアム・シェークスピアの生家があります。その近くにあるかやぶき屋根の家はシェークスピア夫人のアン・ハザウェイの生家です。関場慶博パストガバナー夫婦と一緒に。エイボン川はロンドンを通って大西洋に注いでいるテムズ川の源流になります。Bourton-on-the-Waterという

名前の町です。たいへん歴史的なところも訪ねました。

第101回（2010年）はカナダ モントリオールです。第102回はアメリカのニューオーリンズ。ミシシッピ河のほとり、ジャズ発祥の地でトランペットやトロンボーンで観光客を楽しませてくれました。第103回（2012年）はタイのバンコック。第104回はポルトガルリスボンでした。第105回はオーストラリアのシドニー。

第106回はブラジルのサンパウロ。

国際大会は質量ともに世界トップレベルの国際会議です。勉強会、祭典、観光が伴っています。ロータリアン、人間としての倫理レベル、意識を高めて世界の友好と平和、地域振興を願いつつ、多くの人に出会いを楽しむ会でもあります。皆さんもぜひこれにもご参加いただきたいと思います。

東日本大震災。八戸の館鼻岸壁です。このときに2830地区で被災地支援復興委員会を作りました。会長はわたしが仰せつかり、創造的復興と交渉して活動しました。海外からもいろんな支援を受けましたので、英文の報告書も出しています。蕪島の破壊されたトイレ、移設したトイレ。これは八戸南ロータリークラブにより財団補助金で移転新築したのですが、復興委員会、八戸ロータリークラブからの資金もここに注がれています。

このときの支援活動としてスペインのFCバルセロナ（バルサ）が支援してくれました。被災地の児童を招待する。岩手宮城地区からの児童も招待して、八戸市の南郷区学校村エコランドでやりました。世界の著名な選手が参加してくれましたので、子どもたちは大喜びでした。もう一つ、駐日チェコ大使のカテジーナ・フィアルコバーさん。これは京都の洛中ロータリークラブと姉妹クラブのチェコのプラハロータリークラブの共同プロジェクトとして、被災された子どもたちをチェコのプラハに招待してくれました。八戸、三沢、おいらせ地区の高校生26名をプラハに招待してくれました。モルダウ川の船旅も経験しました。この後でチェコの音楽大学へ留学生も

招待してくれるというありがたいプロジェクトでした。

G S E (Grove Study Exchange 研究グループ交換) は海外の地区とわが地区との若いプロフェッショナルの交換です。これはすごいプロジェクトです。報告書はわたしが書きました。この時のメンバーはすばらしいメンバーでした。八戸クラブ関係では中村悟志君 (後のデーリー東北常務)、茂木正信君 (後の三戸町役場助役) などのメンバーで原子力発電所、警察、裁判所、空軍基地、銀行、工場、農場、大学、カジノ、音楽会、メジャーリーグ、新聞、テレビの記者会見など、超過密スケジュールでした。これはアメリカの大学に1年間留学したのにも匹敵するほどの専門知識の習得、職業研修などを提供するすばらしいプロジェクトでした。アメリカの新聞にも取り上げられました。今度はニュージャージー州と交換したのですが、向こうからメンバーが来ました。

姉妹クラブ基隆ロータリークラブのことは省略します。

自分にとってロータリークラブとは何かということを書きなさいとのことですが、わたしは職業奉仕という、わかったような分からないような奉仕活動はどんなものかと思って研究させてもらいました。わたしは今年職業奉仕委員会委員なので、時間があつたらそちらの方で取り上げたいと思います。

今後に期待するところ。わたしのガバナー時代のテーマ「洒落たいなか」を作ってもら

いたいと思います。世界のロータリアン、すなわち八戸のロータリークラブのメンバーは各々の職業におけるプロです。つまり自己実現した方々です。そして海外から日本、青森県八戸を見ると、美しい自然環境に恵まれ、世界で最も安全だし、最も長生きできる地域です。ポイントはこれらの要素をどうやってより成長させて、より素晴らしいクラブ、地域そして平和な世界にするか。洒落たいなか作りをしていただきたい。

ロータリアンが共に協力し合えば、地域も世界も自己実現できる。世界平和も実現できる。こういうことです。洒落たいなか。田舎は在郷という意味ではなく、わざわざひらがなで書いていますが、これが東京や大阪などの都会地とは違う地域を発展させてすばらしい地域にしていきたい。こういうことです。

実はしゃれたいなかをアメリカにも作りました。ワシントン州ポートランド郊外のフォレストクラブに桃川の醸造会社、サケワンコーポレーションを1992年に設立し、1998年に工場を建設しました。そして世界各地に輸出させてもらっています。日本と比べて米が安いので、技術があれば安くいい酒が造れます。世界に輸出するのに日本から出すよりはアメリカから出すほうが有利という背景があります。

いろいろ省略、省略で申し訳ありませんでした。わたし自身も省略されそうな老人です。以上で回顧録とさせていただきます。

出 席 報 告						出席委員会	
第3323回例会 (8月7日)				第3321回例会 (7月25日)			
出席率		60.9%		出席率		100.0%	
総会員数		66名		出席数		39名	
出席義務会員		64名		出席義務会員		66名	
出席免除会員		2名		出席免除会員		0名	
欠席数		25名		修正出席率		100.0%	
欠席数		0名		メイクアップした人数		0名	
欠席数		0名		欠席数		0名	